

(様式例 1)

児童手当等に係る海外留学に関する申立書

愛知県丹羽郡扶桑町長殿

【申立人】(児童手当等の請求者)

〒 480 - 0102

住 所 扶桑町大字高雄字天道 330 番地

氏 名 扶 桑 太 郎 印

電 話 0587 (93) 1111

私は、児童手当法(昭和46年法律第73号)第3条に定める留学等により国外に居住している児童を監護し、かつ、生計を同じくしていることについて、当該事実を証明する書類を添えて、下記のとおり申し立てます。

記

1 留 学 し て い る 児 童 の 状 況 等	(1) 氏名 [性別] (生年月日)	扶 桑 一 郎 〔男〕女] (平成18年5月10日生)
	(2) 留学期間 (予定)	令和元年 9 月 1 日 ~ 令和2年 9 月 1 日
	(3) 留学している教育機関等の名称	〇〇〇〇スクール
	(4) 留 学 の 目 的	勉学のため
	(5) 居住地 (国名・居住地)	アメリカ合衆国 アリゾナ州
	(6) 児童と同居している者の氏名 (続柄)	・ 扶 桑 花 子 (母) ・ ()
	(7) 留学前の国内居住状況	・ 令和元 年 8 月 31 日 〒480 -0102 扶桑町大字高雄字天道 330 番地 ・ 年 月 日 〒 - ・ 年 月 日 〒 -

2	(1) 父母等の氏名・住所	氏名（続柄） 扶桑 太郎 (父)	住所 〒 480-0102 扶桑町大字高雄字天道 330 番地
		氏名（続柄） 扶桑 花子 (母)	住所 〒 - アリゾナ州×××××
	(2) 監護の状況（面会など）	週に1回以上、音声画像通話ツールを使用して話しています。	
父母等の状況	(3) 生計関係の状況（生活費の送金状況等）	児童と同居している母親の口座に学校費や生活費を送金しています。	
	3	(添付したもの)に✓)	
添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 留学の事実がわかる書類（留学先の在学証明書等）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 留学前の国内居住状況がわかる書類（戸籍の附票の写し、国内の学校における在籍証明書等）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 翻訳書（添付書類が外国語で記載されている場合）		

【記入上の注意】

- ◆ 1 (2) 「留学期間（予定）」欄は留学するために日本国内に住所を有しなくなった年月日から留学を終了し再び日本国内に住所を有するに至る日（予定日）を記入してください。
- ◆ 1 (6) 「児童と同居している者の氏名」欄は留学先の住居において、児童と同居している全ての者について記入してください。
- ◆ 1 (7) 「留学前の国内住居状況」欄は、留学する前日から遡って過去3年間を超える期間について、住民票上の住所を記入してください。ただし、留学する前日までに引き続き3年を超えて国内に住所を有していなかった場合にあっては、過去6年間の海外居住期間も含む居住状況（日本国内の居住状況については住民票上の住所）を記入してください。
- ◆ 2 (1) 「父母等の氏名・住所」欄は児童の父母について記入する他、児童に未成年後見人がいる場合は当該未成年後見人についても記入してください。
- ◆ 2 (2) 「監護の状況」欄及び(3)「生計関係の状況」欄は申立人（児童手当等の請求者）と児童の間の状況について、具体的に記入してください。
- ◆ 3 の添付書類「留学の事実がわかる書類」は、児童の氏名、留学先の教育機関等の名称及び留学開始年月日が記載された証明書類（留学先の教育機関等から発行される在学証明書等）を添付してください。また、外国語で記載されている場合は、日本に居住する第三者（親族以外）の方の翻訳書を併せて添付してください。（当該翻訳書に翻訳者の署名、押印及び連絡先を記載してください。）
- ◆ 3 の添付書類「留学前の国内居住状況がわかる書類」については、児童が留学前の過去6年間において扶桑町に引き続き住所を有していた場合は、添付する必要はありません。